

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・8月は前年比で売上が130%、客数が122%と好調に推移した。6月から始まったタスポカード効果が定着した。花火大会や地区の祭りといったイベント、暑い日が続く等の良い条件も後押しした。ガソリン高で車の流れが変わってしまったが、それでも観光で入ってくる客への道案内サービスや情報提供等の対応で数字が良かった。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・たばこの自動販売機はタスポが無いと買えないため、対面販売の店である当社は特にたばこの売上が伸びている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・墓参り、盆休みと帰省客の入りが大変良かった。
	やや良く なっている	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今月は夏物最終バーゲンの月で客数が増える時期であり、前年同月比で客数が30%、品数で66%数字が伸びた。しかし過去3か月間の売上マイナス分を回収するまでには至らない。
変わらない		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今年の暑さは厳しく、人は外にあまり出ていない。また、諸物価の値上がり、ガソリンの値上げで、皆外出を控えている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・相変わらず客数は前年よりも落ちていて、低調な動きを示している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前月に引き続き、ガソリン高、食材等の値上げによる消費マインドの低下が顕著に現れ、高額品、美術工芸、宝飾等の売上は大きく低下している。衣料品についても無駄な物は買わないという意識が高い。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・食品のみ前年をクリアしているが、衣料品、住居品の前年割れ分をカバーするところまでは良くない。3か月前と比べると衣料品の落ち込みが激しい。
		スーパー（統括）	来客数の動き	・夏の暑さの恩恵があり、盛夏商材の売上が好調に推移した。ただ、オリンピックの恩恵は、中国産問題を含めると相殺されてしまう。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・猛暑の影響で、飲料は前年比112%の伸びで、暑さ対策グッズも好調である。中元ギフトも偽装問題の影響で銘柄牛やそうめんは苦戦しているが、アイス、飲料等が好調で、全体としては103%と伸びている。お盆はガソリン高騰から安近短志向とオリンピック観戦で家庭内での食事が増えたためか、バーベキューセット、刺身盛り合わせ等が伸びた。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・単価の安い品物でもよく吟味して購入する傾向があり、迷ったら購入しない客が多くなっている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・台所を直撃したような経済不安が、悪い意味で定着しつつある。我々の業界では暇なニッパチとよく言われるが、8月は本当に来客数が少ない。ここ3か月くらいは、最低の状況が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・客の買い控えが一段と強くなっている。グレードアップどころか必要な物以外は購入を控えている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・夏休みの来客数は前年並みである。お盆時期はマイカーの台数が減少したものの、路線バス等公共交通機関での入込は伸びている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・夏休み期間にスポーツ関係の団体が多く入り、前年より団体は多かった。ただ、個人客は少なかったため、トータルとしては前年と同じである。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・一昨年も昨年もお盆の動きは良かったが、今年のお盆の動きは悪い。ただ、暑い日が多いので、全体の動きは前年同月と比べて横ばいである。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・近くに競争相手が出来たが、来客数は横ばいで変わらなかった。また、単価に関しても依然低調ながら横ばいである。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者が去年と同じである。
やや悪く なっている	一般小売店〔金物〕（経営者）	来客数の動き	・引き続き物価が上昇していることに加え、北京オリンピックがあったため来客数も少なかった。	

一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・客の購買意欲が見えない。食料品等生活に欠かせない物への消費があるのみである。早めの秋冬の季節商品の動きを期待したいが、灯油価格の問題などを考えると景気の良くなる要素は感じられない。
一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・毎日決まった客しか来なくなっている。流動客が極端に減っている。
百貨店（総務担当）	お客様の様子	・婦人衣料は夏物が5割引きになっても売れていない。紳士、婦人共に70歳以上の客が減少している。食料品のまとめ買いも少なくなってきたり、売れているのは超目玉商品ばかりである。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・衣料品全体が非常に厳しい状況になっている。残暑が続いたこともあるが、来客数が少なく、なかなかクリアランスセールも進まない状況である。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・クリアランスセールも一段落し、秋物商材への移行期にあるが、各商品群とも動きが鈍く、いまだ顧客の視点はセール品等の価格訴求品に向いている。
スーパー（経営者）	単価の動き	・節約志向が広がっている。
コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店が閉店に追い込まれている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量の減少傾向に歯止めが効かなくなってきたり。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・とにかく燃料問題である。ガソリンがこれだけ高くなっていると大型車種が全く動かない。2,500、3,000CCクラスの車が全く商談に掛からない。展示会等のチラシをDMで送っているが、客がガソリン価格の上昇、低下を気にして販売に至らない。3か月前と比べると販売台数が落ち込んでおり、客数も落ちている。
自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・客数は以前より少なく、また鈍い。
住関連専門店（店長）	来客数の動き	・買物動向として、必要な物以外を買っていない。買上点数が落ちている。
住関連専門店（経営企画責任者）	販売量の動き	・客は必要な物以外は買わない。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・お盆商戦の客数減が顕著である。価格によりシビアになっており、衝動買い比率も低下している。
高級レストラン（店長）	来客数の動き	・月の前半はお盆の連休等もあり、比較的順調に推移したが、連休後の落ち込みが激しく、来客数が前年比で10%近く落ち込んでいる。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・来客数が毎月減少している。
スナック（経営者）	来客数の動き	・人通りが本当に少なくなっている。宴会の件数はそれほど落ち込んでいないが、客単価は低くなってきている。ランチタイムも全体的にお金を使わない方向に向っているようであり良くない。
観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・50名以上の大口の宴会、婚礼等が極端に減少している。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・企業の出張が減っており、市内宿泊者も減少している。近辺の飲食店も夜はガラガラの状態が続いている。
旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・物価上昇や燃料高騰等により一段と客の流れや依頼、問い合わせが少ない。北京オリンピックを自宅で見ているようで来客数も少ない。
旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・ガソリン等の高騰から、社会全体で景気が悪い状況になっている。団体旅行を見合わせたり、個人旅行を控えたりする客の様子や意見もあり、非常に危惧している。
タクシー運転手	販売量の動き	・配車依頼、乗り込み件数共に4月以来前年実績を割り込んでいる。燃料価格も上昇し、苦しい経営が続いている。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月はお盆もあり、里帰りなどで14、15日の2日間は多少動きはあったが、その後は週末でも動きは悪く、売上は減少している。
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・前半の猛暑と雷雨、後半も低温と雨により、平日利用の多い高齢、女性層が減少している。天候でキャンセルやハーフで帰る客も多く、客数は前年に比べ減少している。

	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	来客数の動き	・車検の台数は前年並みになったが、一般整備の入庫は前年度比で30～40%減少した。新車台数も初めて減少した。
	その他サービス [清掃] (総務担当)	それ以外	・ガソリン価格の高騰により、マイカー通勤していた職員が鉄道通勤に変えたりしている。
	設計事務所 (所長)	販売量の動き	・個人住宅は落ち込んでおり、新規の相談が無い。今手掛けている物件が終了してからの、当てが無い。
	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・首都圏を中心に、資金繰りの悪化による同業の大型倒産が増えている。地方はもともと良くなかったが、影響は少なからず出てきている。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・契約件数が減少傾向にある。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・店舗、事務所等の出店希望情報が減少し、土地活用関連の受注が目に見えて厳しくなってきた。
悪くなっている	商店街 (代表者)	販売量の動き	・客は例年並みに来店しているが、金は使わない。また、シーズン後半の大雨が効いている。
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・盆休みの期間中、町の人通りは少なく、パーゲンへの来客ももう一つといった状況である。
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・商店街でまた閉店があり、近くのファミレスも閉店した。商店街に客が来ない。
	一般小売店 [乳業] (経営者)	お客様の様子	・宅配先の客との会話等から、消費意欲の減退感が著しく、購買数も減少している。自動販売機の売上も減少している。
	一般小売店 [衣料] (経営者)	販売量の動き	・当社は学生服販売の店であるので、夏休み中は売上は上がらない。周りの商店に聞いてもかなり悪い状況である。地域商店街のイベントも企画するが、それに乗れない店も出てきている。
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・高齢者の買い控えがある。
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・商店街に人通りが全く見られず、秋物も売れない。
	家電量販店 (店長)	来客数の動き	・依然として、来客数ダウンに歯止めが掛からない。また、オリンピック効果も期待したほどではなかった。消費のマインドが冷えている。
	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・普段の日だけでなく、展示会にも客が全く来ない。前年と比べると半分以下である。
	スナック (経営者)	来客数の動き	・競争相手の店数も多いが、客の動きが鈍い。
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・通常の宿泊客数はかなり減ってきている。またネットによる申込も例年より2割ほど下がっている。
	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・夏休みの家族旅行及びグループ旅行の受注がここ数年で一番悪い。長距離の旅行が特に少ない。
	観光名所 (職員)	販売量の動き	・個人消費の低迷を受け、別荘販売は比較的低価格の中古物件に動きがあるだけで、高額な新築物件については需要が冷え切っている。
	ゴルフ練習場 (経営者)	来客数の動き	・地方都市では街の中心部に入ってくる人がどんどん減っていて、その代わり郊外の新しい施設に人が集まるようになってきている。来客数の減少に歯止めが掛からない。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	販売量の動き	・8月の前半は猛暑で客数の伸びが鈍く、後半になると豪雨で客数が少なくなった。
	美容室 (経営者)	来客数の動き	・夏休みで売上が減った。長年来の客の数が減っている。月に1度が2か月に1度となった客もいる。企業努力が必要と思ひ、様々な工夫をしたが、あまり効果はない。地方の不景気は深刻な状況になりつつある。美容室の料金の値上げをするつもりだったが、客離れを考え見送った。売上は前年度比8%減である。
	美容室 (経営者)	競争相手の様子	・客が段々と減少している。チェーン展開している美容院が非常に経営努力をしており、いろいろな広告宣伝で非常にお金を使っている。個人店は経営努力が少ないため、チェーン展開の店に客を取られている状況である。
	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・今年度予定されていた設備投資が、来年度へ持ち越した物件が多い。

		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・いろいろ宣伝をしているが、物件の引き合いが無い。もちろん貸店舗、アパート等の引き合いも無いし、不動産の仲介物件も引き合いが無い。客が急にいなくなっている。
企業 動向 関連	良くなっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・5か所のスプレー缶、ガス缶処理装置等の環境機器の製造、納品、設置が来月で終わる。現在は来年度の予算見積の営業で忙しく動いている。
	やや良くなっている	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・受注量、販売量の動き、取引先の様子等は良い所も悪い所もあり、今はまずまずの状況である。
	変わらない	食料品製造業 (営業統括)	競争相手の様子	・一部ワインメーカーによる欧州への輸出の話があるものの、業界全体に好影響を与えてはいない。
		窯業・土石製品 製造業(経営者)	取引先の様子	・特注品の受注に関して、見積等の動きはあるものの減少気味である。店頭一般商品、特に外国向け土産品の動きが割と好調である。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今年の1～3月と比較すると3割落ちている。前年比でも3割減であり、かなり厳しい状況が続いている。
		通信業(営業担 当)	受注量や販売量の動き	・受注数を見ても横ばい傾向であり、目に見えた向上が望めない。客は購入に極めて慎重であり、価格が大きく購買に影響している。依然として財布のひもは固い。
		経営コンサル タート	それ以外	・天候不順の日も多く、サービスを中心とする季節需要が盛り上がり、個人消費が落ち込んだままである。
	やや悪くなっている	食料品製造業 (製造担当)	競争相手の様子	・値上げした県内の同業者は、利益率で売上を確保するも、固定費をなんとか上回るくらいであり、非常に厳しい状態である。さらに、週休2日を3日にしたり、製造時間を1時間遅らせて、更に1時間早く終わらせたりすることが出来るくらいに、取引量が減り、会社運営も厳しい。
		出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	取引先の様子	・また近くで建設関係会社の倒産があり、取引はかなり厳しい。
		一般機械器具製 造業(生産管理 担当)	受注量や販売量の動き	・自動車、建設機械等、当社の主要な量産部品に関して数量が大きく減少してきている。
電気機械器具製 造業(経営者)		受注量や販売量の動き	・拡販努力が実り、久しぶりに仕事が決まった。しかし、一時的なものであり厳しさは続く。加工関係は、自動車関係が落ち込んでいるが、デジタルカメラが安定して、仕事は確保している。	
輸送業(営業担 当)		取引先の様子	・物量は前年並みを確保しているが、燃料も高い状況が続く、利益の確保が厳しい状況である。運賃転嫁等も荷主に交渉しているが、原材料の高騰等により荷主も厳しい状況である。また、燃油サーチャージ等も法的な基準が無く、決め手が無い状況である。	
金融業(店長)		取引先の様子	・燃料高騰、仕入価格高騰も販売価格に転嫁出来ず、企業の資金繰りは依然厳しい。	
金融業(経営企 画担当)		取引先の様子	・原油高、原材料高による影響が各業種に出ている。個人についても日常生活に直接影響するため、将来に対する心理的な不安感も増大している。	
新聞販売店[広 告](総務担 当)		受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比92%となり、低迷が続いている。このように14か月連続して前年実績を下回することは過去に例が無い。特に悪くなっている業種があるわけでは無いが、全体的に出稿が抑えられている。	
		社会保険労務士	取引先の様子	・派遣先の業績悪化により派遣会社で離職者が増えている。延期していた賞与を結局支給中止にした会社も出ている。
悪くなっている	出版・印刷・同 関連産業(経営 者)	受注価格や販売価格の動き	・前と同じ仕事をしていても値段は下がっているのでも売上は下がる一方である。	
	化学工業(経営 者)	受注量や販売量の動き	・主力製品の納入先業界の景気が全国的に悪いため、注文が入ってこない。7、8月とも生産量は前年の半分になっている。	
	窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注量や販売量の動き	・過去最低の売上である。	

		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格がなんでも高くなってしまっているため、受注価格や販売価格を決めるのが非常に難しくなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メイン取引先のボタン電話の売行きが悪く、当社の受注もダウンしている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・諸々の値上げ攻勢が強くなり、それを製品価格に転嫁しようとしても大手メーカーには認められない。そういう状況から、月次決算が赤字になっている。通期でも増収減益で、減益幅が大幅になっている状況で厳しい。
		その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・ジュエリー展示会の来場者、売上共にダウンした。また、プラチナ価格も大幅にダウンしており、展示会用のサンプルが軒並み原価割れしている。問屋筋にも発注に戸惑いが出ている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・当社は公共事業主体の建設業者であり、今月も入札に参加したが受注はゼロであった。4月から5か月経過したが年間目標の1割の受注しか確保できない。今現在、運転資金確保が難しい状況になっている。
		金融業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・仕入物全般が、値上げや割引率の縮小により単価が上がっているため、支出が増えている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販促広告も、求人広告も1割は削減されている。ここに来て広告業界が一気に劣勢に傾いている。付加価値及び企業体力がない広告代理店は、淘汰される。実際、地元の広告代理店数社が、厳しい状況とのうわさも聞く。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・販売サービス関係の求人数が目立っていたが、お盆休みもあり、製造関係の自動車関連、電子、石油製品、住宅関連は伸び悩んでいる。	
	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・仕事の量が少なく、あっても期間が短いことから、業績がすごく悪い。	
やや悪く なっている	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・新卒の採用を絞り込んできている。派遣の場合は一般事務系が減少している。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・中堅の製造業関係の一部が良いものの、他の業種は全般的に求人数が落ちている。夏場における短期パート、アルバイトも終わり、これからの時期はパート等の募集も少なくなる。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求職者数は微増だが、事業主都合による離職者が大きく増加している。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数がここ数か月減少傾向にあるが、特に製造業の減少が目立っている。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は微増だが、事業主都合による離職者が大きく増加している。	
	学校 [短期大学]（就職担当）	求人数の動き	・原油高騰、原材料高騰、消費者離れ等で企業のしめつけが強く、その影響が新規採用者の求人数の低下につながっているようであり、活動をしている学生は苦戦している。	
悪く なっている	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・4月から求人数の動きが極度に悪くなっている。	
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・地域格差、企業間格差はあるものの、総じて採用に大変慎重であり、即戦力となれる経験者以外は、若年者を含め大変厳しい状況になっている。	